

令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

令和7年1月15日

協議会名: 木更津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

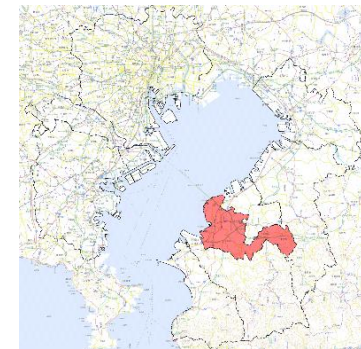
①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富来田地区まちづくり協議会	デマンド型交通「ふくちゃんバス」 営業区域: 富来田地区 運行日: 水曜、金曜 運行時間帯: 午前9時から午後4時 運賃: 1回の乗車毎に片道500円(富来田地区内、尾張屋、おどや)、750円(ほたるの眼科)、1,000円(萩原病院)	・利用促進を進めるため、地区社会福祉協議会主催のコミュニティカフェにて、地域住民に対して利用方法の説明等を行い、利用登録者を19名増やすことができた。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していたきたいとの評価結果を受け、ドライバー募集のための声掛けを強化した結果、新規に2名のドライバーを確保することができた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ①利用者について、 ・延べ6人／日 ・延べ50人／月 ②令和5年度実績(50.0%)と比較して、収支率1%改善。 【実績】 ①利用者について、 【令和6年度】 ・延べ 6. 2人／日 ・延べ65. 3人／月 【令和5年度】 ・延べ 5. 8人／日 ・延べ53. 7人／月 ②収支率 【令和6年度】45. 5% 【令和5年度】50. 0% ➡4. 5%減 【分析】 ・利用者数および運行便数は増となったが、個別利用が増えたものであり、相乗り率が下がったことが収支率の減の要因であると考えられる。 ・今後は利用者の相乗り率を高めることが必要であると考え。	・利便性及び収益の向上を図るために、引き続き、利用者の需要の変化に合わせて目的地的見直しを行う必要がある。 ・収支率の改善のため今後も乗合運行の実施に努め、効率化を図る必要がある。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月15日

協議会名：	木更津市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	木更津市の東に位置する富来田地区は、地区の中央部をJR久留里線と路線バスが運行しているものの、当事業開始前は東西に延びる交通がなく、公共交通が存在しなかったが、富来田地区の住民がふくちゃんバスを利用することにより、JR馬来田駅への接続により木更津市中心部へのアクセスが可能になった。また、国庫補助対象地域間幹線系統である路線バス姉ヶ崎線の停留所に接続することにより市原市への移動も可能となり、地域住民が買い物や通院などの日常生活を送ることができるようになった。 更に、各交通モードの役割分担により、利用者が少なく存続が危ぶまれているJR久留里線や地域間幹線系統の利用促進が期待できる。このように、当事業を実施することは地域住民の生活の足の確保だけでなく、行政界を超えた生活交通の維持に資する。 なお、これまで幹線交通へ接続する交通が無かったこと、運行本数が少なく乗り継ぎが不便であったこと、人口減少・高齢化の進展などから、鉄道及び路線バスの利用者が減少を続け、その結果、地域内を運行する路線バス3路線のうち木更津駅に接続する中郷・富岡線は令和3年7月に、馬来田線は同年10月に路線を短縮し富来田地区内を運行しなくなったため、ふくちゃんバスは今後一層、地域の公共交通として非常に重要な役割を担うことになる。 以上のように、輸送量が多い地区や時間帯については交通事業者による鉄道や路線バスなどが輸送を担い、交通不便地域においては、地域住民との協働による自家用有償旅客運送の実施等、需要に合わせた交通の最適化を目指す。

令和6年度 木更津市地域公共交通会議 (千葉県木更津市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



地域の公共交通等の現況

JR内房線が千葉方面から館山方面を結び市内に2駅、JR久留里線が木更津駅から東の上総亀山方面を結び市内に5駅あり、両路線は木更津駅で結節している。路線バスについては、JR木更津駅を中心に放射状に運行している。公共交通が存在しない市東部においては、フィーダー系統として、地域住民が運行主体の自家用有償旅客運送を実施し、鉄道や幹線系統へ接続している。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

【基本理念】持続可能なまちづくりを支え、利用者のニーズに応えた、地域公共交通ネットワークの構築

【基本方針】○高速バスの利便性向上

○地域特性に応じた地域公共交通ネットワークの構築

○利用しやすい環境整備及び公共交通の利用促進

【計画目標】①高速バスの利便性向上 ②路線バスの再編等 ③新たな交通システムの導入

④利用しやすい環境の整備 ⑤公共交通の維持に向けた利用促進

【事業の目標】○前年度比1%以上の収支率の増加を目指す。

面積	138.90km ²
人口 (R5.4.1時点)	136,645人
15歳未満	16,860人
65歳以上	37,966人
高齢化率	27.78%

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

- ・利用登録者に対して運休日や受付開始日のお知らせを2ヶ月に一度送付する等、継続的な利用を促した。
- ・当運行について地域内各区への回覧や利用者による近隣住民への口コミにより、利用登録者が19名増加した。
- ・地域内で社会福祉協議会主催のコミュニティカフェが実施されることに合わせ、参加者の送迎のための臨時運行を行ったことが輸送人数の増につながった。

アピールポイント

- ・地域住民が受付オペレーターや運転手を担っていることにより、収支率は45.5%に達しており、県内で実施されているデマンド型交通の平均収支率(R4年度:12.0%)を大きく上回っている。
- ・自家用有償旅客運送の運転手を地域住民が担っているという強みを生かし、地域に浸透した活動となっている。運転手が買い物・通院に付き添うことによって、高齢者の外出が容易になる等、外出促進に繋がっている。

交通計画の計画期間

令和5年4月～令和12年3月

協議会開催状況

(令和6年度事業に係るもの)

・令和5年度第1回(令和5年6月)

令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

・令和6年度第1回(令和6年6月)

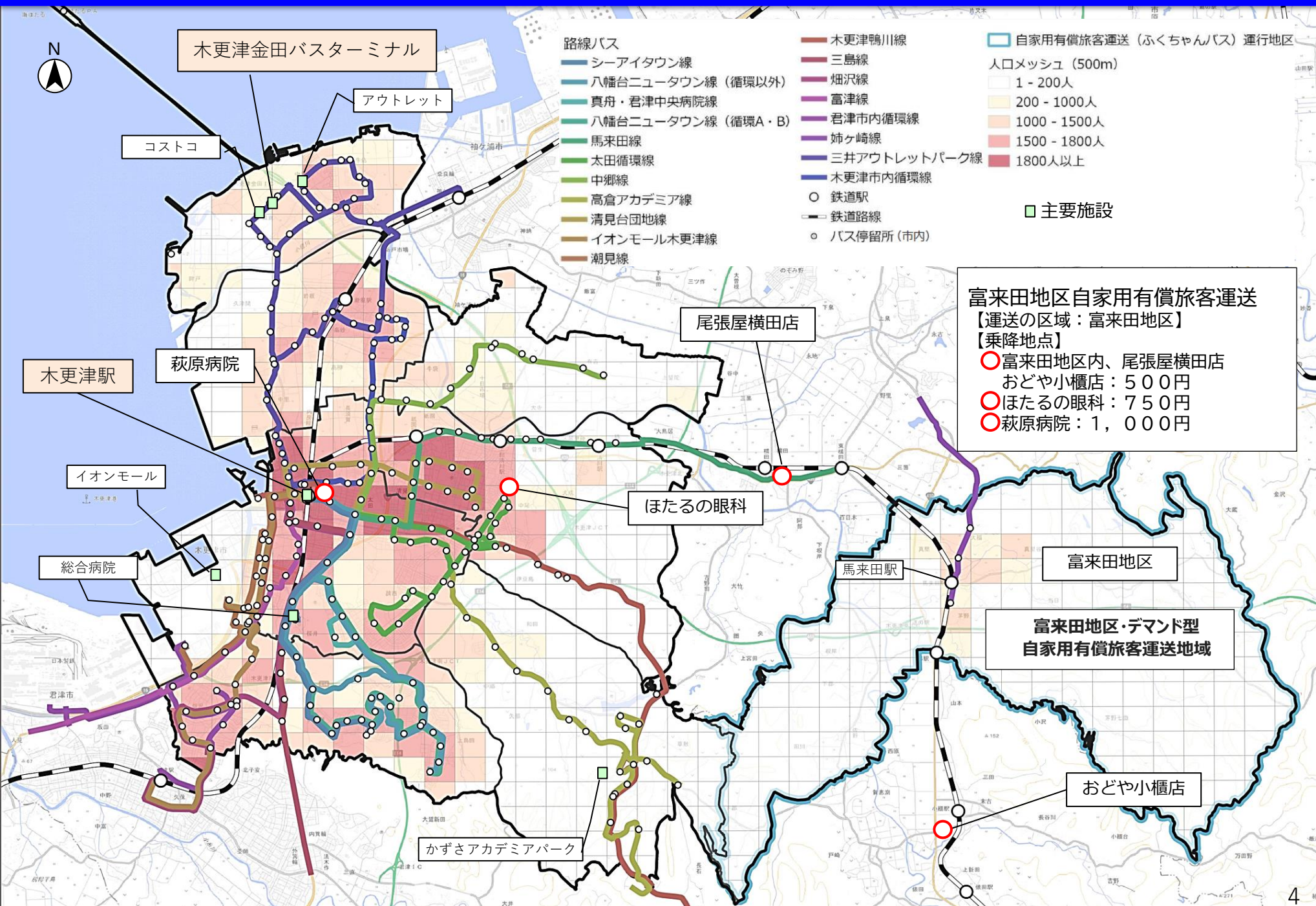
自家用有償旅客運送の実施状況について

・令和6年度第2回(令和7年1月)

地域内フィーダー系統確保維持費計画の認定について

令和6年度地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について

【参考】地域の公共交通体系図



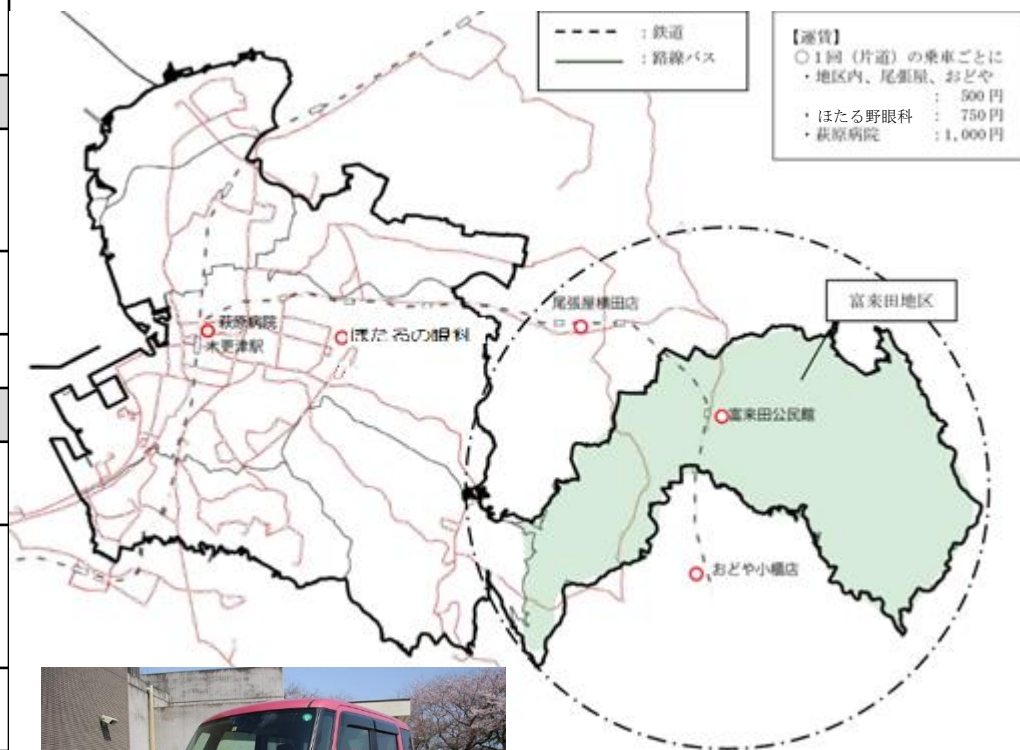
【参考】事業の概要・状況等(1)

交通不便地域とされる富来田地区において、地域が運行主体となって地域住民の生活の足の確保を目的とした「自家用有償旅客運送(公共交通空白地有償運送)」(愛称:ふくちゃんバス)を運行しています。

■運行概要

1.利用対象者	富来田地区在住者で事前登録をした方 登録料1,000円
2.運行サービス	
(1)運行エリア	富来田地区および地区外商業施設等(尾張屋横田店、おどや小櫃店、ほたる野眼科、萩原病院)
(2)予約日	利用週の月曜日 受付に電話にて予約
(3)運行日	水曜日、金曜日
(4)運行形態等	
① 運行形態	予約(デマンド)による区域運行型輸送サービス
① 運行時間帯	概ね午前9時から午後4時で設定 ※ただし、通院の時間帯によっては可能な範囲で早朝便を運行。
3.乗降方式	自宅から目的地へのドア・トゥ・ドア
4.運賃	運賃徴収(事前にチケットを購入) 1回の乗車毎に片道500円(富来田地区内、尾張屋、おどや)、 750円(ほたるの眼科)、1,000円(萩原病院)

■運行区域



運行車両



車両貸与式の様子

事業の状況 1

1 運行体制など

(1)運行者	富来田地区まちづくり協議会
(2)体制	地域住民が運転手を担っている。 (運行管理の責任者など、全て兼務)
(3)車両数	12台(うち1台は市が無償貸与) 令和6年4月1日現在

2 本格運行への移行

(令和3年7月1日から一部運行内容を見直して、本格運行に移行しました。)
・運行可能な目的地の追加及び運賃(片道)の変更) *1令和5年8月1日からアピタ→ほたるの眼科

	新				旧		
目的地	富来田 地区内	尾張屋 おどや	ほたる 野眼科 *1	萩原 病院	富来田 地区内	尾張屋 おどや	アピタ
運賃	500円		750円	1,000円	250円	500円	750円

3 令和6年度の運行状況(令和5年10月1日～令和6年9月30日)

運送月	運行日数	運送便数	利用人数	1便当たりの輸送人数
10月	11日	48便	69人	1.43人／便
11月	10日	41便	62人	1.51人／便
12月	10日	45便	63人	1.40人／便
1月	10日	39便	59人	1.51人／便
2月	14日	57便	80人	1.40人／便
3月	11日	45便	70人	1.55人／便
4月	12日	54便	82人	1.51人／便
5月	12日	56便	80人	1.42人／便
6月	9日	42便	61人	1.45人／便
7月	10日	51便	71人	1.39人／便
8月	7日	29便	35人	1.20人／便
9月	8日	35便	52人	1.48人／便
合計	125日	542便	784人	1.44人／便

5 令和6年度の主な目的地(R5年10月1日からR6年9月30日)

目的地	件数	備考	参考(R5)
萩原病院	202件	木更津駅近辺	198件
中村医院	89件	馬來田駅から約600mの 内科	88件
尾張屋	62件	袖ヶ浦市横田のスーパー	69件
ほたるの眼科	44件	木更津市ほたる野の眼科	6件
富来田公民館	22件	社会福祉協議会がカフェ を開催	0件
おどや	24件	君津市小櫃のスーパー	14件
アピタ木更津*	6件	木更津市ほたる野の大型商業 施設	13件
馬來田駅	1件	JR鉄道駅	5件
富来田郵便局	2件	—	5件
業務スーパー	2件	馬來田店(旧主婦の店)	2件
富来地区内 その他	63件	農協・直売所、美容室、理 髪店、歯科医院、道の駅 等	27件

4 令和5年度の運行状況(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

	運行日数	運送便数	利用人数	1便当たりの輸送人数
合計	110日	427便	645人	1.51人／便

事業の状況 2

5 令和5年度の運行結果(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

(1)利用登録者数	113名
(2)運転者数	11名
(3)運行日数	103日
(4)運送便数	427便
(5)延べ利用者数	645名
(6)1便当たりの 輸送人数	1.51人/便
(7)収支	①収入 会員登録料 1,000円×14人=14,000円 運賃収入 548,250円 合計 562,250円 ②支出 人件費 729,500円 燃料費 99,017円 講習費 4,500円 消耗品費 43,298円 印刷製本費 0円 通信運搬費 63,320円 修繕料 91,851円 保険料 91,390円 合計 1,122,876円 収支率 50.0% ③フィーダー補助金額(令和5年度実績) 279,000円

6 令和6年度の運行結果(令和5年10月1日～令和6年9月30日)

(1)利用登録者数	128名
(2)運転者数	10名
(3)運行日数	125日
(4)運送便数	532便
(5)延べ利用者数	784名
(6)1便当たりの 輸送人数	1.44人/便
(7)収支	①収入 会員登録料 1,000円×19人=19,000円 運賃収入 606,500円 合計 625,500円(前年度比63,250円) ②支出 人件費 909,500円 燃料費 121,150円 講習費 60,566円 消耗品費 120,105円 印刷製本費 2,200円 通信運搬費 30,706円 修繕料 36,189円 保険料 92,070円 合計 1,372,486円(前年度比249,610円) 収支率 45.5% ③フィーダー補助金額 372,000円(申請額)